

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公開番号】特開2004-219406(P2004-219406A)

【公開日】平成16年8月5日(2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-030

【出願番号】特願2003-406755(P2003-406755)

【国際特許分類】

G 01 J 1/02 (2006.01)

G 01 T 1/20 (2006.01)

G 01 T 7/00 (2006.01)

H 01 L 31/09 (2006.01)

H 01 L 31/10 (2006.01)

【F I】

G 01 J 1/02 Q

G 01 T 1/20 E

G 01 T 1/20 G

G 01 T 7/00 A

H 01 L 31/00 A

H 01 L 31/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前面(20)及び後面(22)を含む基板(14)と、

前記基板の前記前面(20)上に設けられた複数のトランステューサ(12)と、

前記基板の前記後面(22)上に配置され且つ前記トランステューサに電気結合された複数の入出力接続部(34)と、

少なくとも1つの信号処理回路を含む少なくとも1つの電子装置(18)と、

前記基板(14)と前記電子装置(18)との間に配置された可撓性の金属被覆ポリイミド間置体(16)とを有し、

前記複数のトランステューサ(12)は各トランステューサが隣接する少なくとも2つのトランステューサに突き合わされるように連続的な2次元アレイに配列され、

前記可撓性の間置体(16)は、前記複数のトランステューサ(12)と前記複数の入出力接続部(34)とを前記電子装置(18)に電気的に接続するように構成された多層相互接続システムを含んでいること、

を特徴とするタイミング可能なセンサ・アレイ(130)。

【請求項2】

各トランステューサが隣接する少なくとも2つのトランステューサに突き合わされるように配向された複数のトランステューサ(12)を含む2次元トランステューサ・アレイと、

少なくとも1つの取外し可能な信号処理回路と、

第1の複数の入出力接続部と第1の多層相互接続システムとを有し、前記トランステューサ

サ・アレイと前記信号処理回路との間に配置された第1の可撓性間置体と、
前記第1の複数の入出力接続部と実質的に同じ第2の複数の入出力接続部と第2の多層相
互接続システムとを有し、前記トランスデューサ・アレイと前記信号処理回路との間に配
置された第2の可撓性間置体とを有し、
前記第1の多層相互接続システムは前記第2の多層相互接続システムと異なるように構成
されること、
を特徴とするタイミング可能なセンサ・アレイ・キット。

【請求項3】

前記複数のトランスデューサ(12)は、背面照射型フォトダイオード、音波センサ、温度センサ及び電磁放射センサのうちの少なくとも1つを含んでいる、請求項2記載のタイミング可能なセンサ・アレイ・キット。

【請求項4】

前記取外し可能な信号処理回路は、前記トランスデューサ(12)に電気結合されている、請求項2記載のタイミング可能なセンサ・アレイ・キット。

【請求項5】

前記第1の間置体は、ポリイミド、アラミド、フッ化炭素及びポリエステルのうちの少なくとも1つより成る材料から製作されている、請求項2記載のタイミング可能なセンサ・アレイ・キット。

【請求項6】

前記取外し可能な信号処理回路は、前記取外し可能な信号処理回路の端に位置付けられた第1の電気的コネクタとを有しており、該第1の電気的コネクタは、前記取外し可能な信号処理回路が前記第2の間置体に対して実質的に垂直となるように、前記第2の間置体の1面に電気的に月号するように構成される、請求項2記載のタイミング可能なセンサ・アレイ・キット。